

2-9 “Color 24 a-f” における画面分割の方法

6点の連作より成る“Color 24 a-f”は、すべて $\sqrt{5}/2:1$ の画面型を使用している。画面内に導入された分割線の位置は2パターンあり、a-fはこの2パターンを重ねた同一の分割パターンによる。以下に、それぞれの分割方法と、それによってできる分割面の構造を記述する。

【分割1】タテ位置の原矩形($\sqrt{5}/2$ 矩形)の上下に、短辺の長さを1辺の長さとする正方形をとると、中央に、長・短辺の比が1.309:1になる矩形を得る($1-0.118 \times 2=0.764$ $1 \div 0.764 \approx 1.309$)。上下の残余に細長い矩形(0.118:1 $1:8.475$)ができる。(Fig.2-8-3)

【分割2】原矩形の中央に正方形をとると、上下の残余に細長い矩形(0.059:1 $1:16.949$)ができる。(Fig.2-8-4)

【分割3】【分割1】と【分割2】を重ねた図である。(Fig.2-8-5)

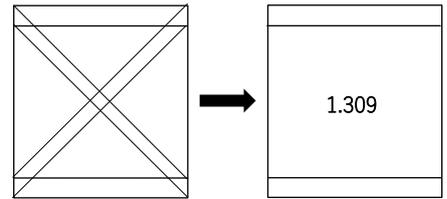


Fig. 2-8-3

$\sqrt{5}/2$ 矩形 (1.118 矩形)

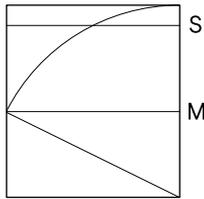


Fig. 2-8-1
 $\sqrt{5}/2:1 \approx 1.118:1$

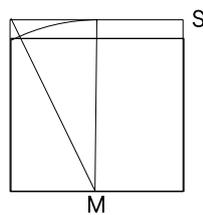


Fig. 2-8-2
 $2/\sqrt{5}:1 \approx 0.894:1$

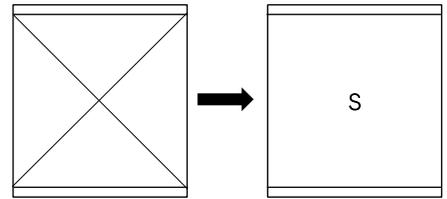


Fig. 2-8-4

直角をはさむ2辺の長さが1と1/2である直角三角形の斜辺の長さは1.118である($\sqrt{1.25} = \sqrt{5}/2 \approx 1.118$)。

長・短辺の長さの比が $\sqrt{5}/2$ と1である矩形を $\sqrt{5}/2$ 矩形または1.118矩形とよぶ。(Fig.2-8-1, 2)

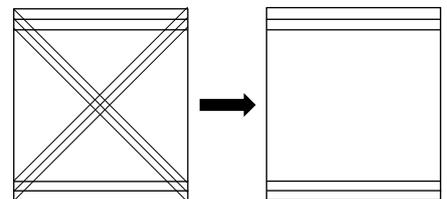


Fig.2-8-5